

第2章 | 環境保全施策の推進

「目黒区環境基本計画」に掲げた5つの基本方針に沿って、2018（平成30）年度に実施した主な環境保全施策の内容について報告します。

基本方針1 省エネのまちづくり

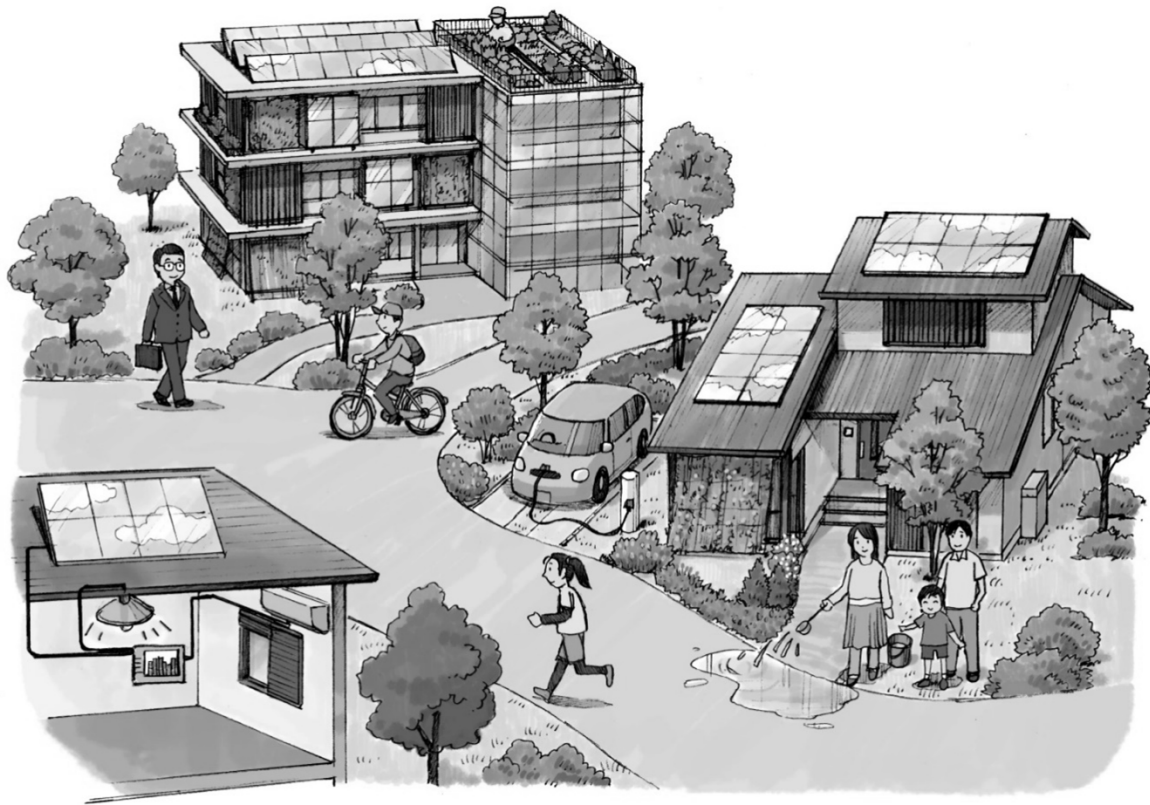
地球温暖化対策を推進する

〔将来像〕

一人ひとりが省エネルギーを中心に、できることから地球温暖化対策に取り組むとともに、エネルギーを効率よく生み出し、賢く利用する最先端の技術を暮らしに取り入れることで、快適な都市生活を享受しつつ、エネルギーを無駄なく効率的に利用し、温室効果ガス（二酸化炭素）排出量を大幅に削減した省エネのまちを実現します。

〔取組方針〕

こうした将来像を目標に、エネルギーを大量に消費する社会から、環境にやさしいライフスタイルや事業活動への転換に取り組むとともに、エネルギーを賢く使う住環境の整備を進めていきます。



（イラストはイメージです）

指標の評価

😊：目標値を達成 😐：目標値に近づいている 😞：目標値に近づいていない —：現状値を把握していない

指標項目	基準年度	基準年度末 時点実績値	2018 (平成30年) 年度末実績値	目標	評価
成果指標					
省エネ行動に取り組んでいる人の割合※ ¹	2016	81.7%	80.8%	増加	😐※ ²
関係計画に基づく成果指標					
二酸化炭素排出量※ ³	2010	1,087 千t-CO ₂	1,048 千t-CO ₂ (2016《平成28》 年度実績値)※ ⁴	2010(平成22)年度 を基準とし、区域全体 で2014(平成26)～ 2020(令和2)年度の 間に毎年度1%以上、 2020(令和2)年度に おいて7%以上削減	😞
エネルギー消費量	2010	13,215 TJ	11,003 TJ (2016《平成28》 年度実績値)※ ⁴		😊
取組点検項目					
「めぐろ笑エネトライ」 参加件数(☆)	2015	22件	14件	増加	😞
めぐろグリーンアクション プログラム(事業所版) 参加件数(☆)	2010	48件	23件	増加	😞
住宅用新エネルギー及び 省エネルギー設備設置費 助成件数(☆)	2010	140件	147件	増加	😊
街路灯のLED化	2017	732灯	780灯	推進	😊
環境配慮型の道路整備	2017	保水性舗装 遮熱性舗装 10,122m ²	保水性舗装 776m ²	推進	😞

※¹ P81、82の区民に対する『環境に関するアンケート』の「2. 環境にやさしい行動の取組状況について」の問7の★1マークの項目の集計結果の平均値から算出。

※² P71「標本誤差について」により、数値の増減は誤差の範囲内のため、評価は「目標に近づいている」とした。

※³ 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画(第二次計画)」では、「地球温暖化対策推進法」の対象である温室効果ガス(7種類)のうち、区の排出量の96%以上を占める「二酸化炭素」が対象。

※⁴ 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画(第二次計画)」の計画期間は、2020(令和2)年度まで。最新値は2016(平成28)年度の数値。出典：「特別区の温室効果ガス排出量<1990《平成2》～2016《平成28》年度>」オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」・2019(平成31)年3月発行

2018(平成30)年度の成果

- 「省エネ行動に取り組んでいる人の割合」は、基準年度末実績値とほぼ同水準で推移しており、区民の更なる行動促進に努めていきます。
- 二酸化炭素排出量は基準年度末実績値に対して3.6%減少、エネルギー消費量は16.7%減少しています。
- 住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成件数が増加する一方で、めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)及び「めぐろ笑エネトライ」の参加件数は減少しており、低炭素ライフスタイルへの転換の取組をより推進していく必要があります。
- めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)参加件数は減少しています。事業所に参加・継続いただけるよう、努めていきます。
- 街路灯のLED化は着実に進んでおり、2018(平成30)年度は780灯をLED化しました。

施策の進め方

地域の大部分が住宅地で占められている目黒区において、地球温暖化対策を進めるには、こまめに節電する、公共交通機関や自転車を利用する、自動車を運転するときはエコドライブを心がけるなど、区民が日常のライフスタイルの中で具体的にできることを行動に移し、ライフスタイルを転換していくことが重要です。

区内にオフィスや店舗を構える事業所においても、そこで働く一人ひとりが日常の事業活動の中で省エネルギー行動を推進していくことが大切です。

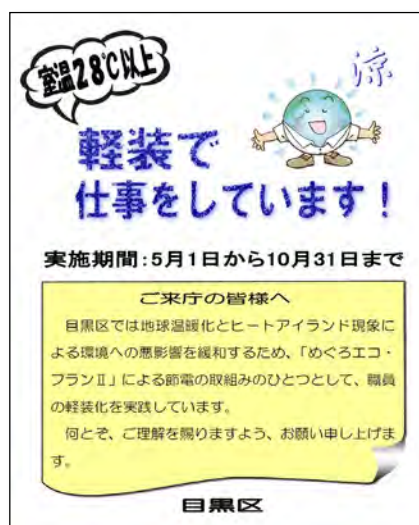
このため、区では、区民、事業者に向けて、低炭素のライフスタイル、事業活動の実践につながる普及啓発、支援を進めていきます。

● **省エネ・節電行動の推進**

省エネ行動を推進するため、研修・講座などを開催しています。

また、みんなで楽しく笑いながら省エネにトライする「めぐろ^{しょう}笑 エネトライ」には、14人の区民の方が参加しました。

なお、区有施設における節電対策の一環として、5月1日から10月31日までの期間は、室内温度を28℃に設定し、軽装で仕事を行う「節電ビズ」を実施しました。



<節電行動の庁内周知用チラシ>

● **「めぐろスマートライフ」での情報発信**

区では、エコライフめぐろ推進協会と連携・協力し、ホームページ「めぐろスマートライフ」を公開しています。このホームページは、より快適で便利な、思わずトライしたくなるようなアイデアやコツなどの情報を発信し、めぐろスマートライフ（環境にやさしい行動を賢く選択できる暮らし方）を実践していくことで、低炭素社会の実現を目指すものです。一方的な情報提供だけでなく、区民からもアイデアや体験談を募集し、双方向の発信を目指しています。

2018（平成30）年度は、区民ライターによる記事の掲載や、特集記事の検討を行うことで、ホームページの更なる充実を図りました。



めぐろスマートライフ Meguro Smart Life

エコロジーや省エネルギーを賢く楽しみながら実践できる情報を発信中です！

<めぐろスマートライフ ロゴ>

●エコドライブの普及促進

環境に配慮した運転の普及啓発を図るため、区ホームページに、「エコドライブ」の記事を掲載し、ふんわりアクセル「eスタート」や、早めのアクセルオフなどの「エコドライブ10のすすめ」を紹介しました。



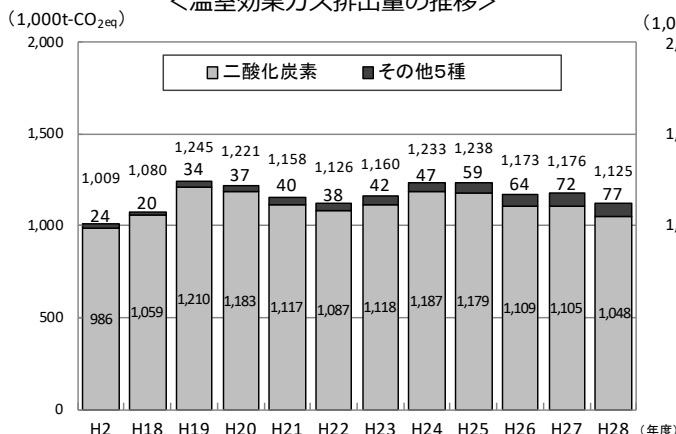
くしろくま フロートくん

●目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）の推進

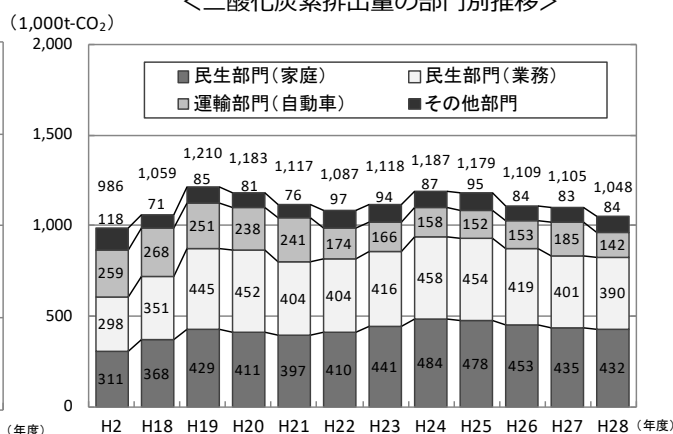
「目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）」では、将来像を「みんなで作る みどりと省エネのまち めぐろ」と設定し、二酸化炭素排出量・エネルギー消費量¹の削減目標を定め、区民、事業者、区が一体となって削減目標達成に向けた取組を、「目黒区地球温暖化対策地域協議会」とともに推進しています。

「目黒区地球温暖化対策地域協議会」を2回（5月、10月）開催しました。また、下表に示す事業を行いました。

＜温室効果ガス排出量の推移＞



＜二酸化炭素排出量の部門別推移＞



※1 四捨五入の関係から合計が一致しない場合があります。
 ※2 2007（平成19）・2008（平成20）年度に温室効果ガスが増えた要因には、2007（平成19）年度の新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所の停止を受け、火力発電による発電量の割合が大きかったことがあげられます。
 出典：「特別区の温室効果ガス排出量＜1990《平成2》～2016《平成28》年度」オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」・2019（平成31）年3月発行

＜地球温暖化対策の推進に関する主な取組＞

① 住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成	太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム、CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器、マンション共用部LED照明などの導入を支援
② 「めぐろエコの森」の維持管理	下草刈り2回（6月から8月の間）、忌避剤散布を実施
③ 地球温暖化対策啓発事業	地球温暖化防止月間に、区報や区ホームページなどによる啓発を実施
④ めぐろ ^{しょう} 笑 エネトライ	家庭で楽しみながら省エネに取り組める事業として実施

¹ 2010（平成22）年度を基準とし、区域全体で2014（平成26）～2020（令和2）年度の計画期間に、二酸化炭素排出量・エネルギー消費量を毎年度1%以上、計画最終年度（2020《令和2》年度）において7%以上削減する。

●省エネ・低炭素型の製品への買換え等の賢い選択の普及啓発

「COOL CHOICE（クールチョイス）」の取組について4コマ漫画で紹介する啓発冊子「4コママンガで学ぶ賢い選択」を配布しました。

また、環境負荷が少ない商品の購入などを促すため、区ホームページや区報に冊子を紹介する記事を掲載しました。



<4コママンガで学ぶ賢い選択>

●環境に配慮した事業活動の支援

太陽光発電の導入やエコカーの購入など、環境に配慮した設備を積極的に導入するよう、中小企業者を対象とした融資あっせん優遇利率を適用しています。

融資あっせん実績は、太陽光発電が2件、低公害車の導入が1件でした。

◇2019（令和元）年度に実施する主な施策の内容

- ・日常生活における省エネルギーの取組のきっかけとして、家庭版めぐろグリーンアクションプログラム「めぐろ^{しょう}笑エネトライ」を推進し、普及に努めます。
- ・太陽光発電の導入やエコカーの購入などを目的とした融資制度について、利子補給を上乗せすることにより、環境対策に取り組む中小企業への支援を継続します。
- ・環境への負荷の少ない商品の購入などに関する普及・啓発を図ります。



ぺんごろうじいさんからの一言

エコドライブ10のすすめ

運輸部門の二酸化炭素排出量のうち、自家用車からの排出が約半分を占めています。ハイブリッドカーや電気自動車などが普及しつつありますが、運輸部門の二酸化炭素排出量削減のためには、環境に配慮した自家用車使用の促進が求められます。

内容紹介

- ① ふんわりアクセル「eスタート」
- ② 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
- ③ 減速時は早めにアクセルを離そう
- ④ エアコンの使用は適切に
- ⑤ ムダなアイドリングはやめよう
- ⑥ 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- ⑦ タイヤの空気圧から始める点検・整備
- ⑧ 不要な荷物はおろそう
- ⑨ 走行の妨げとなる駐車はやめよう
- ⑩ 自分の燃費を把握しよう



やさしい発進を心がけましょう



無用なアイドリングをやめましょう

WEB 「エコドライブ普及推進協議会」ホームページ [URL] <http://www.ecodrive.jp/>

トピックス

めぐろグリーンアクションプログラムとは…

今、私たちの周りには地球温暖化を代表とするさまざまな環境問題があります。この問題を解決するには、区、区民、事業者、学校がそれぞれの立場から環境に配慮した活動を行うことが必要です。

区では、家庭や事業所、学校において、地球温暖化防止のために具体的に行動する仕組みとして、区独自の環境配慮行動プログラム「めぐろグリーンアクションプログラム」をつくりました。このプログラムには、家庭版・事業所版・学校版の3種類があります。

家庭版めぐろグリーンアクションプログラム

住宅が多い目黒区では、各家庭における省エネが地球温暖化防止のカギになります。家庭での取組は、「地球にやさしい」だけでなく、電気代などの節約により「家計にもやさしい」効果があります。区では、みんなで楽しく笑いながら省エネにトライする「めぐろ笑エネトライ」のパンフレット・エントリーシートを配布しています。一人ひとりが考え、自ら地球温暖化対策に取り組んでいくために、どうぞ、ご活用ください。

チャレンジしたい個人の方は、環境清掃部環境保全課温暖化対策係まで。(電話03-5722-9034)

めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)

「めぐろグリーンアクションプログラム事業所版」は、環境に配慮した行動を行う区内事業者を応援するプログラムです。

チャレンジしたい事業者の方は、環境清掃部環境保全課温暖化対策係まで。

学校版めぐろグリーンアクションプログラム

学校版は、環境教育推進のためのひとつの手段であり、児童・生徒と教職員が一体となって、学校生活の中で継続的に省エネ・省資源活動や環境学習活動に取り組むためのプログラムです。区立小中学校の取組については、教育委員会事務局学校運営課学事係まで。

(電話03-5722-9304)



めぐろ笑エネトライ

WEB 詳しくは、区ホームページをご覧ください。

- 家庭版(めぐろ笑エネトライ)
 - トップページ > くらし・手続き > 自然・環境・ごみ > 地球温暖化対策 > めぐろグリーンアクションプログラム > 家庭版めぐろグリーンアクションプログラム「めぐろ笑エネトライ」
- 事業所版
 - トップページ > くらし・手続き > 自然・環境・ごみ > 地球温暖化対策 > めぐろグリーンアクションプログラム > めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)
- 学校版
 - トップページ > 教育委員会 > 学校教育 > 学校教育 学習活動 > 学校版めぐろグリーンアクションプログラム

施策の進め方

温室効果ガス（二酸化炭素）排出量を大幅に削減していくためには、区民、事業者が省エネルギー行動を進めると同時に、建物や設備の面からも省エネルギー化を進めることが重要です。

このため、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）² やネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）³ を視野に入れ、家庭や事業所における太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入、省エネルギー機器の普及を図るとともに、公共施設においても再生可能エネルギーや省エネルギー設備の導入、外断熱化等、建物の省エネルギー性能の向上に取り組みます。

● **再生可能エネルギーや省エネルギー設備等の導入促進**

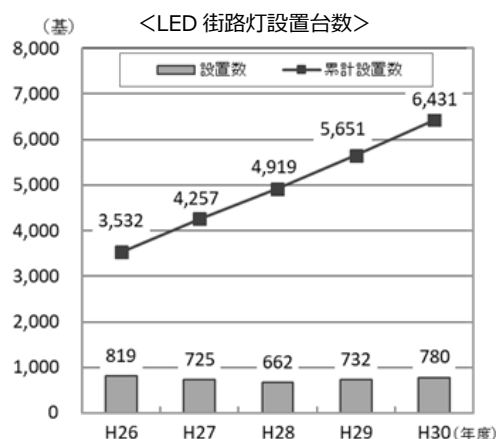
太陽光発電システムなどの設置費を助成することで、家庭における再生可能エネルギーの普及を図りました。

2018（平成30）年度の助成件数は、太陽光発電システムが30件、家庭用燃料電池システムが69件、家庭用蓄電システムが15件、CO₂冷媒ヒートポンプ給湯器が11件、HEMS（家庭用エネルギー管理システム）が7件、マンション共用部LED照明が15件でした。

● **公共施設の低炭素化の推進**

区有施設の改修・改築時に、省エネルギーに配慮した施設の整備を推進するため、区内の小中学校11校や目黒区総合庁舎ほか1施設に、LED照明を導入しました。

また、交換時期にあわせてLEDの街路灯を780基設置し、合計で6,431基になりました。



※2016（平成28）年度版めぐろの環境、2015（平成27）年度版めぐろの環境掲載値を上記数値に訂正。

◇ **2019（令和元）年度に実施する主な施策の内容**

- ・家庭への再生可能エネルギーや省エネルギー設備等の導入を促進させるため、引き続き設置費の助成を行います。
- ・「目黒区地球温暖化対策推進第三次実行計画（めぐろ エコ・プランⅢ）」に基づき、区の事務事業に伴って排出される温室効果ガスの削減や環境負荷の低減に向けた取組を推進します。

² ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）：住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電などによってエネルギーを創り、年間に消費する正味（ネット）のエネルギー量が概ねゼロとなる住宅のこと。

³ ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）：建築構造や設備の省エネルギー、再生可能エネルギー・未利用エネルギーの活用、地域内でのエネルギーの面的（相互）利用の対策をうまく組み合わせることにより、エネルギーを自給自足し、化石燃料などから得られるエネルギー消費量がゼロ、あるいは、概ねゼロ、となる建築物のこと。

トピックス

2019（令和元）年度目黒区住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成のお知らせ

区では、区内の各家庭において環境負荷の少ないエネルギー利用を促進し、地球温暖化対策を推進するために、二酸化炭素排出量の削減に配慮した新エネルギー及び省エネルギー設備を自宅に設置される方に対して、経費の一部を助成しています。

助成対象設備	太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム、家庭用蓄電システム、CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器、HEMS（家庭用エネルギー管理システム）、マンション共用部LED照明、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）
対象となる設置期間	2019（平成31）年1月1日から同年12月31日まで
助成額	設備本体価格の3分の1以下（設備ごとに上限額があります。）

WEB 詳しくは、区ホームページをご覧ください。

トップページ > くらし・手続き > 自然・環境・ごみ > 地球温暖化対策 > 新エネルギー及び省エネルギー設備設置費の一部を助成します

トピックス

気仙沼産バイオマス発電由来FIT（フィット）※電気の購入

目黒区は、友好都市である宮城県気仙沼市の復興を支援すること、また、再生可能エネルギーの活用促進に資することを目的として、「気仙沼産バイオマス発電由来FIT（フィット）電気」を、電力供給会社を通じて、2018（平成30）年4月から購入しています。詳しくは、下記担当までお問い合わせください。



<田道ふれあい館>

〈電力購入施設〉

気仙沼市と縁のある施設で、目黒のさんま祭りの会場となっている「田道ふれあい館」、自然宿泊体験教室を実施している「駒場小学校」及び「東山中学校」のほか36施設（計39施設）

※FIT（Feed-in Tariff：固定価格買取制度）電気は、電気を使うすべての者が負担する再生可能エネルギー賦課金によって買い取られた電気であり、火力発電なども含めた全国平均の電気の二酸化炭素排出量を持った電気として扱われる。

問合せ先 環境清掃部環境保全課温暖化対策係（電話03-5722-9034）

施策の進め方

温室効果ガスの削減を進めても世界の平均気温は上昇し、21世紀末に向けて、気候変動の影響のリスクが高くなると予測されています。気候変動の影響に対処するため、温室効果ガスの排出の抑制等を行う「緩和」に加え、すでに現れている影響や中長期的に避けられない影響に対して「適応」を進めることが求められています。

また、区内では、ヒートアイランド現象による気温上昇の影響もみられ、熱帯夜が増加傾向にあるほか、集中豪雨との関連性も指摘されています。

これらの影響に対する適応策として、熱中症・感染症予防対策に関する普及啓発、ヒートアイランド現象及び都市型水害への対策を推進していきます。

● **ヒートアイランド現象への対策（環境配慮型の道路整備）**

ヒートアイランド対策の一環として、目黒川沿いのエリアにおいて、保水性舗装を776㎡整備し、環境配慮型の道路整備を行いました。



<保水性舗装した道路>

● **ヒートアイランド現象への対策（緑化の推進）**

緑化は、ヒートアイランド対策や地球温暖化対策に大きな効果があります。「目黒区みどりの条例」に基づく緑化や緑化に対する助成を行うなど、ヒートアイランド対策としての緑化を進めました。公共施設では、大鳥公園、南一丁目緑地公園及び緑が丘児童遊園において緑化を完了しました。



<みどりのカーテン>

● **ヒートアイランド現象への対策（打ち水等）**

人工排熱を少しでも低減し、エアコンの力を借りずに過ごすため、打ち水やみどりのカーテンを実施しました。

打ち水は、朝、夕方の時間帯にお風呂の残り湯などを道端や庭先にまくことで、夏の暑さを和らげたり、土ぼこりを防いだりする昔からの日本の風習です。路面だけでなく屋上やベランダ、日なたでも日陰でも効果があります。

8月10日（金）及び18日（土）に田道ふれあい館で打ち水大作戦を実施し、合計で111人が参加しました。



<打ち水で夏を涼しく>

● **熱中症・感染症予防対策に関する普及啓発等**

区では、高齢者の熱中症対策事業の一環として、区の施設（高齢者センター1か所、老人いこいの家24か所）を「涼み処」として開放しました。「涼み処」では、エアコンや扇風機を稼働させるとともに、水分補給のために麦茶などを常時用意し、熱中症の予防を推進しました。また、区報や区ホームページを通じて、感染症予防対策に関する普及啓発を行いました。

● **都市型水害への対策**

雨水の地下への浸透を進め、都市型水害を防ぐために、4か所の雨水浸透柵の整備、歩道や公園における透水性舗装整備を実施しました。さらに、雨水流出抑制施設の整備を図るため、雨水流出抑制施設設置に関する指導要綱に基づく事業者との協議や雨水流出抑制施設等設置助成要綱に基づく個人に対する助成を行いました。



<敷地内の雨水浸透トレンチ>



<敷地内の雨水浸透柵>

◇ **2019（令和元）年度に実施する主な施策の内容**

- ・「目黒区みどりの条例」に基づき、公共施設の緑化を推進します。
- ・道路沿いの緑化や建築物の屋上・壁面などの緑化に対して、助成を実施します。
- ・区報、区ホームページにおいて打ち水の啓発記事を掲載し、区民に周知・啓発を行います。
- ・保水性舗装・遮熱性舗装の整備を推進します。
- ・都市型水害への対策のために、雨水流出抑制施設の整備の促進を図ります。
- ・「目黒区総合治水対策基本計画」に基づき、透水性舗装や雨水浸透柵などを整備します。
- ・雨水タンクの設置費の助成を行います。



ぺんごろうじいさんからの一言

気候変動への適応

気候変動への適応とは、既に現れている気候変動の影響や将来避けられない影響に対処し、被害を回避・軽減していくことです。

一人ひとりが、ハザードマップ（洪水被害予想地図）を確認して災害に備えること、水分補給をこまめにして熱中症を予防することも、「適応」の重要な取組です。

気候変動の影響例

- ・リンゴの日焼けやトマトの裂果などの農作物の品質低下
- ・過去の観測を上回るような短時間強雨、台風の大型化などによる自然災害
- ・熱中症搬送者数の増加といった健康への影響 など